

## 第42回庭野平和賞 贈呈理由

### ムサーワー

庭野平和財団は、多様な社会における市民権の強化と平和共存の促進、ならびに宗教間対話と精神的連帯に資する環境および社会基盤の創出に向けられた多大なる努力を高く評価し、第42回庭野平和賞をムサーワーに贈呈する。

ムサーワーは信頼、尊敬、配慮、公平性、互恵性を基盤とする人間関係を醸成かつ重視しつつ、人類史に刻まれた、ジェンダー偏向による社会経済、法律、政治における差別に対抗すべく取り組みを続けている。その目標は、文化や宗教の枠組みの中で長く沈黙を強いられてきた女性たちの声を掘り起こすことがある。ムサーワーのネットワークには、アジア、中東、アフリカ、北半球の40を超える国々の数百人にのぼる支援者が名を連ね、イスラーム諸国における成人ならびに未成年の女性の人権擁護に向け、人々の思考、習慣、法律、政策の変革を進める運動を展開している。ムサーワーの創立者は、強固な知的基盤と精神的な強さをそなえ、宗教間のネットワークに精通した女性たちである。その中にはマレーシアのザイナ・アンワール氏とイランのジーバ・ミル=ホセイニ氏が含まれる。私たち庭野平和賞委員会のメンバーは、ムサーワーがその献身的な活動を通じ、市民参加の推進、人権の尊重、および平和な暮らしの実現に向け、女性が社会、法律、精神の分野において活動を牽引する機運を醸成したことを証明し、その活動を高く評価する。

ムサーワーは2009年に創立された非営利の国際NGOであり、国連経済社会理事会の特殊協議資格を有する。ムサーワーのネットワークを構成する協力団体および支援者は、それぞれが独立した立場を保ちながら、女性の地位向上、人権の尊重、平和の実現に向けたビジョンを共有している。こうした協力者の多くはアフガニスタン、エジプト、ガンビア、インドネシア、ヨルダン、マレーシア、モロッコ、インド、パキスタン、トルコ、スーダン、ウガンダからの参加者である。また各地域の支援者はパートナーシップを強化し、世界中の女性の地位向上をめざして、年間を通じた協働を行っている。

ムサーワーは教育のネットワークを通じ、ムスリム社会において影響力のある役割が、より多くの女性の手に委ねられるよう取り組みを続けてきた。推進しているのは全員参加による倫理的で思いやりのあるリーダーシップの方式である。ムサーワーは一連の研究会やネットワーク構築の機会を通じ、人類全体の利益に向け、女性による政治および市民活動への参画を推進すべく、その正当性を世界の女性たちに意識づける活動を行っている。そのアプローチは極めて包括的であり、教育を通じて人権意識を高揚し、また政策への働きかけを通して男女間の公正と平等の実現をめざすものである。その目的のため、ムサーワーは社会福祉団体、法律家、政府関係者、宗教指導者と協力し、さらには家族法の改正に向けた地域主導の研究を支援することにより、地域および国際的な提唱活動のためのロードマップを提供している。ムサーワーは社会、経済、文化から市民生活、人権に至るまで、すべての分野を包括する人間の安全保障に向けたアプローチを推進しているのである。

ムサーワーの協力者たちは、ジェンダーに基づく暴力の根絶にも取り組んでいる。この目標に向け、

暴力に対抗すべく女性を対象とした研究会や研修を実施するとともに、社会から女性を守るための環境整備を進め、さらには青年を対象にテクノロジーやソーシャルメディアの活用と、社会改革への支持を促す教育を行っている。また平和、人権、男女平等の分野で女性たちが進めているグローバルな運動に寄与すべく、ムサーワーは多言語による、数百にのぼる資料を制作・配布する一方、アフリカ、アジア、中東における女性の権利と地位向上に貢献し、歴史に足跡を残した人々の功績の保存・広報も行っている。

以上のように、ムサーワーは信仰ならびに諸宗教に共通する価値観を基盤とし、また公正な社会、宗教、精神ならびに人種間の公正な関係の遵守を旨とする、女性たちによる女性の権利擁護を推進する運動である。ムサーワーはこれまで世界の 40 カ国の 700 人を超える活動家、研究者、政策立案者を対象に、男女間の平等と公平性に関する研修プログラムを実施した。現在、その長期的なビジョンとして、男女平等、人権尊重、平和共存に関する各種ワークショップおよび資格認定コースを、オンラインと対面式で提供するためのグローバルな教育機関の設立を掲げている。このように、ムサーワーは宗教間対話、人権尊重、平和共存の分野における女性のリーダーシップの強化に多大な貢献を果たしており、その活動は庭野平和賞の使命と軌を一にするものである。

以上の理由から、庭野平和賞委員会はムサーワーを第 42 回庭野平和賞の受賞者に選定した。

庭野平和賞委員会 委員長  
ムハンマド・シャフィーク